

事業実施者

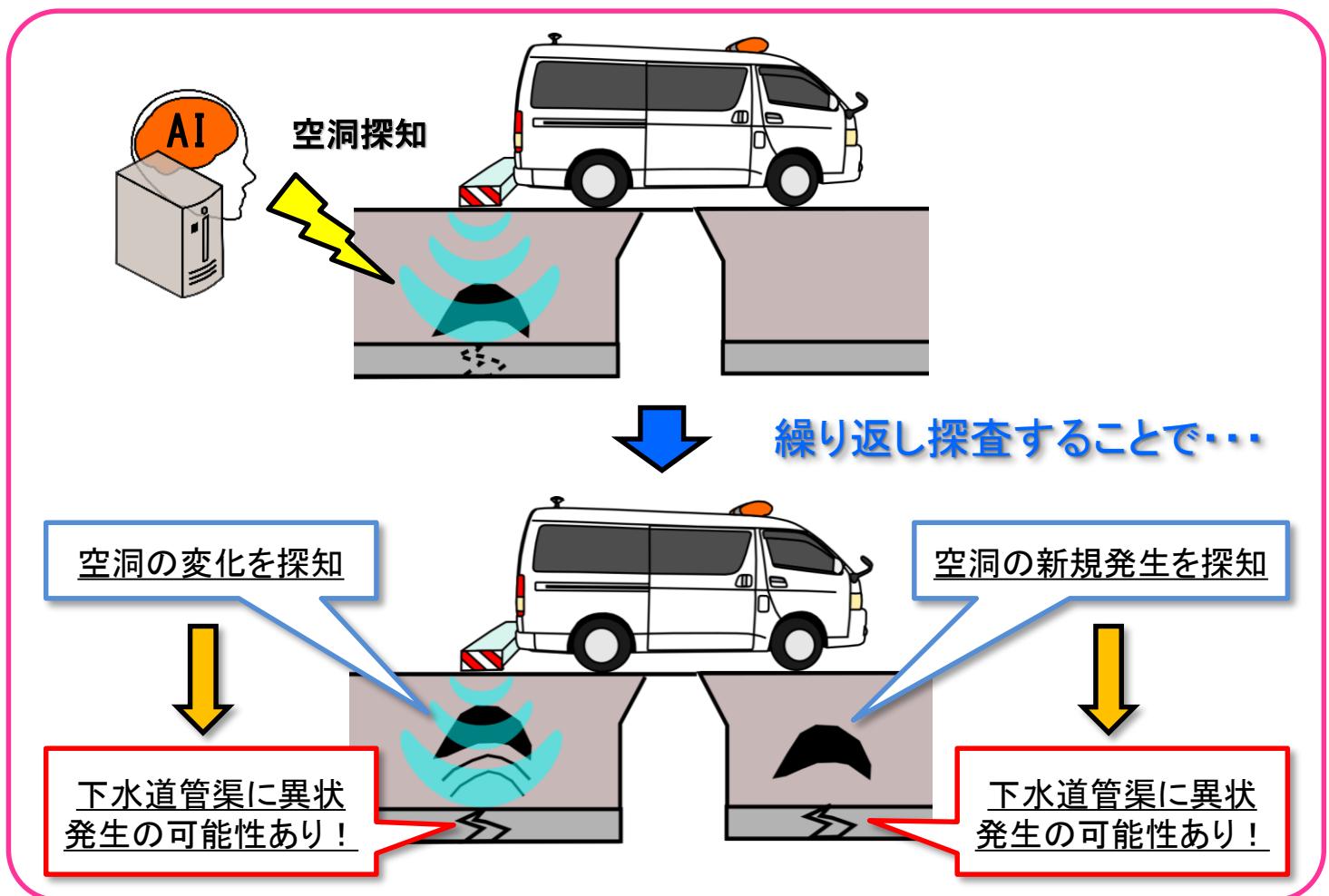
川崎地質(株)・日本下水道事業団共同研究体

実証概要

管渠外から車両型地中レーダ探査装置で定期的に空洞を探査し、AIを用いて変化する空洞や新規に発生した空洞を抽出することで、異状が懸念される箇所をスクリーニングする技術の適用可能性を調査する。

提案技術の概要

繰り返し探査により管渠の異状に起因する**“変化・成長する空洞”**を早期に探知することで、道路陥没を抑制



提案技術の革新性等の特徴

- ① **繰り返し探査により空洞の変化・成長を探知**
 - 空洞を成長させている下水道管渠の異状箇所を推定
 - 下水道管渠の異状と空洞の状態を加味した管渠マネジメントに貢献
- ② **空洞判定AIによる解析作業の迅速化・効率化**
 - 繰り返し探査により取得される多量のデータを短時間で解析
 - 解析作業軽減によるコスト削減
 - 解析結果の客観性向上
- ③ **管渠外からのスクリーニング技術**
 - 路上の人的作業が不要、現場の安全性向上
 - 車両によるスクリーニングのため、日進量が大幅に向上